

平野区

うお〜くらり〜



お願い

- 各コースともいつでも自由に参加できますが、ゆったりとした計画でご家族や友人と気軽に歩きましょう。
- 交通ルールを守り、とくに自動車などの交通事故に注意しましょう。
- 各ポイントには、スタンプの設置時間の制限や休みなどの場合がありますので、ご注意ください。なお、スタンプのない所ではクイズなどもお楽しみください。
- この「平野区うお〜くらり〜」に参加されて、わがまち平野区の再発見をしていただき、アンケートにお書きください。今後の区行政の参考とさせていただきます。
- 全コースのポイントを歩かれた方は区役所または（財）平野区コミュニティ協会（平野区民センター内）で完歩証明記念スタンプを表紙裏に押印します。
- このスタンプ帳は、1人1冊、複数冊での参加はできません。（参加中の事故・ケガ等については、主催者は一切責任を負いません）

主催 **平野区役所**
財団法人 **平野区コミュニティ協会**

※区民の参加によってできた“平野区いろはかるた”の読み札をのせています。



トイレ設置

平野コース

約4.8km

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1 平野区役所 | 8 長宝寺 |
| 2 平野区民ホール | 9 坂上廣野麿屋敷跡 |
| 3 赤留比売命神社 | 10 大念佛寺 |
| 4 平野の黄金水 | 11 旧南海電鉄平野線
平野駅跡プロムナード |
| 5 平野郷樋之尻口門跡 | 12 地下鉄平野駅 |
| 6 にこにこセンター | |
| 7 全興寺 | |

地名の由来

●平野（ひらの）

平野の地は、古くは摂津国住吉郡抗全郷に属していたが、平安時代の初め（800年頃）、征夷大将軍坂上田村麿の子・廣野麿の領有地となり、のちに「廣野」がなまって地名の「平野」になったといわれている。（別に、かつては広く平らな原野であったことから「平野」になったとする説もある）

江戸時代には、平野荘から平野郷と改められ、「平野野堂」「平野流」「平野市」「平野背戸口」「平野西脇」「平野泥堂」「平野馬場」の7町と「中野」「今在家」「新在家」「今林」の散郷4村から成りたっていた。1889年4月（明治22年）の市町村制施行時には東成郡平野郷町となり、1925年4月（大正14年）の大阪市第2次市域拡張の際に大阪市住吉区平野となった。その後、1943年4月（昭和18年）住吉区の分区により大阪市東住吉区平野となり、さらに1974年7月（昭和49年）東住吉区の分区により現在の平野区の名称となった。

平野コース

1

ひらの くやくしょ
平野区役所



●所在地：背戸口3-8-19 ☎4302-9734

●スタンプ設置場所：区民企画室1階ロビー ●9：00～17：30 ●土・日・祝日・年末年始休み

〈平野区の概要〉

○昭和49年7月22日 旧東住吉区から分区

○面積 15.30km²

○世帯数 84,267世帯

○人口 202,169人

(男:96,814人 女:105,355人)

※平成17年3月推計人口

○区の花「わたの花」

よ
よいまちは
人権守り
手をつなぐ

平野コース

2

ひらのくみん

平野区民ホール



●所在地：平野南1-2-7 ☎6790-4000

●スタンプ設置場所：事務所受付●9：30～17：30●月・祝日の翌日・年末年始休館

○昭和52年2月開設
(財)平野区コミュニティ協会 管理・運営

○ホール：500人

○集会室：50人

○和室：20人

(最大利用人員)

コミュニティ活動の拠点として、多目的な集会施設として、多くの区民に利用されている。

①
居心地の
良い街だよねと
友と言ひ

平野コース

3

あかる ひ め じんじゃ

赤留比売命神社(三十歩神社)

●所在地：平野東2-11（平野公園隣） ☎ 6792-0128

●スタンプ設置場所：社務所 ●9:00～17:00

新羅より渡来の女神、赤留比売命を祀る。俗称の三十歩神社は、応永年間（1394～1428年）干ばつのとき、法華經三十部を読誦したところ靈験あらたかであったので、三十部神社がなまったものという。また一説では祭神が「三十町歩」の土地を三十歩と聞きまちがえたためとも伝え、耳の神として信仰を集めた。社殿背後の土壘と松山池には、かつての環濠集落の名残りが見られる。

う
海を越え
新羅の女神
赤留比売命

平野コース

4

ひらの おう こんすい

平野の黄金水



●所在地：平野東2-11（平野公園内）

●クイズ：石碑の「平野の黄金水」と書かれた文字面は、東西南北のどちらを向いていますか？ 答え



平野はもともと低湿な土地柄でそのため井戸水の水質が悪く、そのままでは飲用に耐えなかった。しかし、この井戸は良質の水に恵まれ、多くの住民に利用された。坂上廣野麿により荘園として開かれて以来上水道が普及するまで、付近住民にとり貴重な飲料水であった。また、平野の酒造業にも利用されるなど自治都市平野郷の発展を支える大きな役割を果たした。

ひら の こう ひ の じりくちもんあと
平野郷樋之尻口門跡

●所在地：平野東2-11（平野公園内）

●クイズ：この門跡の石碑は何年に建てられたでしょう？ 答え

年



戦国時代、平野は堺とならぶ自治都市であった。

郷内の安全のため集落のまわりを濠で囲み（一般に「環濠集落」と呼ばれる）郷への出入りは13ヶ所に設けられた木戸口を使って行われた。それぞれに門や地藏堂があって平野十三口と呼ばれ、この樋之尻口門もその中のひとつである。少し東側の平野川に「樋之尻橋」の名が今もとどめられている。現在、13の木戸口はなくなったが、地藏堂とその名称によってかつての位置を知ることができる。

平野コース

6

にこにこセンター
(区在宅サービスセンター)



●所在地：平野東2-1-30 ☎6795-2525

●スタンプ設置場所：入口左側 ●9:00～17:15 ●休館日：日曜日・祝日・年末年始

平野区在宅サービスセンターは、大阪市保健福祉計画に基づき、平野区の老人福祉サービスの拠点として平成10年6月にオープンしました。愛称は公募の結果「にこにこセンター」となりました。お年寄りが、いつまでも住み慣れた地域で“にこにこ”と暮らしていけるよう、他のサービス機関とも連携しながらサービスを提供します。

(大阪市平野区社会福祉協議会が運営しています。)

ろ 老人の
心のささえ
にこにこセンター

平野コース

7

せん こう じ
全興寺



●所在地：平野本町4-12-21 ☎ 6791-2680

●スタンプ設置場所：寺務所受付●9：00～17：00

平野がまだ広々とした野であったころ、ここに薬師堂が建てられ、そこを中心に人が住みはじめ、平野の町がしだいに広がっていったといわれる。本尊は薬師如来で、聖徳太子の作と伝えられている。また、当寺には、真田幸村が樋之尻口の地蔵堂に仕掛けた地雷（ちづな）によって飛来したという伝説をもつ「首の地蔵尊」や湛慶作と伝えられる「太子の像」がある。

境内には、「地獄堂」や「水琴窟」（みづかむく）「駄菓子屋さん博物館」もあり、見どころが多い。

ひ

樋之尻の

地蔵飛び込む

全興寺